



北海道スキー選手権大会 2022-2023

Jump, Combined, Crosscountry,
Alpine, Snowboard, Freestyle,
Technical Championship



Ski Association of Hokkaido

公益財団法人 北海道スキー連盟

●オフィシャルスポンサー



JAPAN AIRLINES

北海道エネルギー



ウイントワード



清水建設

競技種目名	ジャンプ競技ノーマルヒル種目
実施日	2022年12月23日（金）
実施会場	名寄ピヤシリシャンツェ
競技主管	名寄地方スキー連盟
参加者数	男女合計47名
概況	<p>第78回大会は女子15名、男子32名のエントリーがあったが、開催予定日12月23日は朝から名寄市内を含め競技会場は吹雪となり、全く治まることが見通せず主要派遣競技役員と組織員会で協議の結果、選手の安全や公平性が保てないということで残念ながら大会は中止となった。また予備日も無く、改めて大会を開催する日程も無いことから中止の判断となった。</p> <p>大会は中止となったが、多くの関係者に協力をいただき、開催日も朝から除雪作業を行っていただいた。次年度は晴天に恵まれることを期待している。</p>



大会では、左ゼッケンを使用する予定だった

●スペシャルジャンプ ゼッケン

右肩に SJ (スペシャルジャンプ略)

男子は、黒数字

女子は、赤数字

競技種目名	コンバインド競技 個人グンダーセン種目
実施日	2022年12月23日（金）
実施会場	名寄ピヤシリシャンツェ 名寄健康の森クロスカントリー競技場
競技主管	名寄地方スキー連盟
参加者数	男女合計11名
概況	<p>第78回大会は、女子2名、男子9名のエントリーがあったが、開催予定日の12月23日は朝から名寄市内を含め競技会場は吹雪となり全く治まることが見通せず主要派遣競技役員と組織員会で協議の結果、選手の安全や公平性が保てないということで残念ながら大会は中止となった。また予備日も無く、改めて大会を開催する日程も無いことから中止の判断となった。</p> <p>大会は中止となったが、多くの関係者に協力をいただき、開催日も朝から除雪作業を行っていただいた。次年度は晴天に恵まれることを期待している。</p>



大会では、左ゼッケンを使用する予定だった

●コンバインド ゼッケン

右肩に NC-J（ノルディックコンバインド-ジャンプ略）
NC-N（ノルディックコンバインド・クロスカントリー略）

（クロスカントリーは両脇サイドに番号あり）

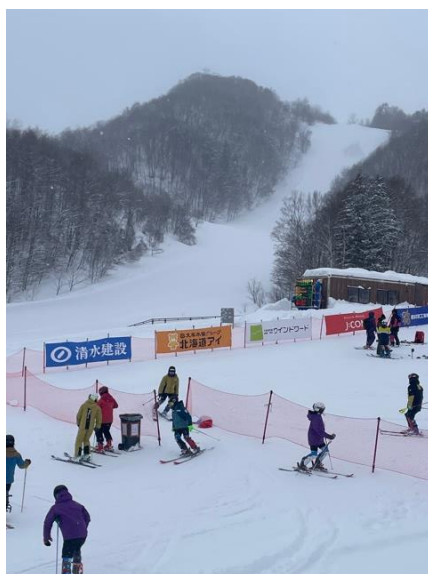
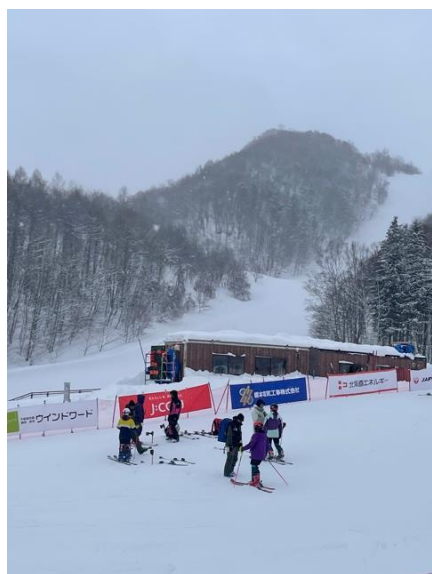
男子は、青数字 女子は、ピンク数字

※国際スキー連盟基準使用で、ジャンプの時とクロスカントリーの際・男女ではゼッケンサイズは異なります。

競技種目名	クロスカントリー競技
実施日	2023年1月15日（土）～1月17日（月）
実施会場	なよろ健康の森クロスカントリーコース
競技主管	名寄地方スキー連盟
参加者数	男女合計85名
概況	<p>第78回大会は数日前の暖気から一転、寒気によりコースコンディションも良好の状態で開催が繰り広げられた。</p> <p>初日(15日)のクラシカル競技、男子10kmは昨年に続き、大田喜日向（自衛隊体育学校）が2位に51.9秒差をつける圧巻な走りで2連覇を果たした。2位松村亜斗夢（JR北海道）、3位に児玉宗史（JR北海道）が入った。女子5kmは高校生の岩佐奏葉（留萌高校3年）が全日本ジュニア強化選手である2位小池梓（富良野高校3年）や3位栃谷天寧（日本大学1年）に競り勝ち初優勝した。</p> <p>2日目(16日)のフリー競技、男子15kmは前日に続き圧巻な走りで大田喜日向が優勝し2冠を果たした。2位には神幸太郎（留萌高校3年）が社会人や大学生を差し置いて見事な走りで入り、3位蜂須賀優駿（JR北海道）が入った。女子10kmは前日2位だった小池梓が意地を見せ優勝を果たし、2位には栃谷天寧（日本大学1年）、3位に前田沙理（日本バイアスロン連盟）が入った。</p> <p>3日目(17日)は男女リレー競技が行われ、男子は4チームの参加となったが、JR北海道スキー部が高校生チームを寄せ付けず圧倒的な総合力で4連覇を果たし、2位に富良野高校が入った。女子は2チームの参加であったが、美幌スキークラブがオリンピック・世界選手権に出場している石田正子選手が海外遠征から帰国し、地元美幌スキークラブとして高校生らと参加し大会最終日に華を飾った。世界で活躍する選手の走りを身近で見ることができ、世界を目指す高校生にとっては、刺激を受けた一日となった。</p> <p>今回で78回目となった本大会ではあるが、会場には3年ぶりに観戦に足を運んでいただいた多くの方々や協賛企業のバナーの設置など久しぶりに華やかな大会となったことに感謝を申し上げます。</p>



競技種目名	アルペン競技スラローム種目
実施日	2023年2月22日（水）
実施会場	朝里川温泉スキー場
競技主管	小樽スキー連盟
参加者数	男女合計153名
概況	<p>第78回大会は、晴天の中、朝里川温泉スキー場の全面的な協力と地元役員の協力もあり、非常に良いコースコンディションであった。</p> <p>男子優勝は佐藤竜馬（Brain）女子優勝は増田さくら（旭川明成高校）と北海道の選手がアベック優勝を飾るとともに、トップ6に男子は5名、女子は4名の道内選手が入る活躍であった。今大会は特に男子については高校1、2年生の活躍が目立ち、来季の全日本チームの基準を切るポイントを取得した選手も数名おり、非常に価値のある北海道スキー選手権大会となった。また、大会の参加者も昨年より60名ほど多く、特に本州からの参加者が多かった、そのためコースかかりの人数も大幅に増員し対応いただきレースが開催されました。この時期のFISレースとしては、参加者にとってその後のレースに向けて、ポイント更新のチャンスが多い大会であった。</p>



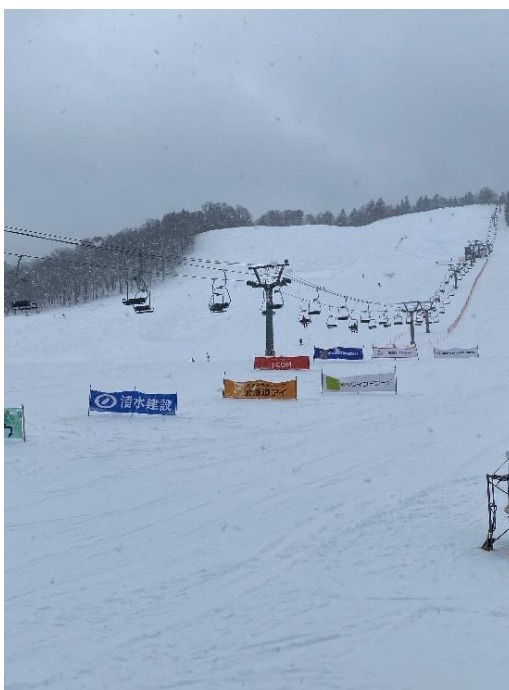
競技種目名	アルペン競技ジャイアントスラローム種目
実施日	2023年1月21日（水）
実施会場	カムイスキーリンクス
競技主管	旭川スキー連盟
参加者数	男女合計109名
概況	<p>第78回大会は、降雪もなく、快晴の中でおこなわれた。コース状況は柔らかい状況ではあったが、地元役員の協力もあり、選手の力量を十分発揮できる大会となった。</p> <p>男子優勝は新賢範（Brain）、女子優勝は地元旭川明成高校の増田さくらとなった。男女ともFISポイントレースとして、非常に良いペナルティーポイントが付き、出場選手の多くがFISポイントの更新をすることができた。参加者が昨年より減少していることに加え、競技役員の高齢化に伴い役員の確保が課題となっているが、次のシーズンにおいても、是非、カムイスキーリンクスでの開催をお願いしたいため、開催地と連携しながら安定した大会運営を目指したい。</p>



競技種目名	アルペン競技スーパージャイアントスラローム種目
実施日	2023年2月26日（日）
実施会場	カムイスキーリンクス
競技主管	旭川スキー連盟
参加者数	男女合計130名
概況	<p>第78回大会は、前日に多少の降雪があり心配されたコースコンディションであったが、地元役員に加え、参加選手にも協力をいただきながらコース整備を行い概ねオンタイムでのレースとなった。全国的にもスーパー大回転競技は開催会場が少なく、カムイスキーリンクスは貴重なスピード系種目の会場である。男女ともに転倒者もなく、また上位選手のタイムも拮抗した素晴らしいレースであった。</p> <p>参加は全国からあり、男子優勝は村井翔（飛騨神岡高校）、女子優勝は高関侑亜（柴田学園大学付属高校）であった。参加者は昨年より40名ほど増加し、この大会の重要性を認識したレースとなった。</p> <p>来シーズン以降も地元スキー連盟と調整を行いカムイスキーリンクスでの開催をお願いしたい。</p>



競技種目名	アルペン・マスターズ競技ジャイアントスラローム種目
実施日	2023年2月12日（日）
実施会場	三笠市国際桂沢スキー場
競技主管	三笠スキー連盟
参加者数	男女合計52名
概況	<p>第5回大会は、降雪があり競技開始が遅れたものの、概ね予定通りの進行で大会を実施することができた。</p> <p>Aクラス優勝は橋本武彦（比布レーシング）Bクラス優勝は阿部浩章（北友レーシング）Cクラスは篠永久美子（美幌町スキー連盟）となった。</p> <p>前日に公開練習をしたことや、公式写真をWEB公開したことが参加者に高評価を得た。コース斜度が大きいことや、マスターズのポイントレースが少ないため2日間開催にするほどの意見もあるため、より魅力的な大会にするため今後に向け開催地と検討したい。</p>



競技種目名	フリースタイル競技エアリアル種目
実施日	2023年2月11日（土）
実施会場	美深スキー場
競技主管	美深スキー連盟
参加者数	男女合計14名
概況	<p>第42回大会は、晴天に恵まれ非常にコンディションの良い中での大会であった。協力いただいている美深町、陸上自衛隊名寄駐屯地含め大会関係者の協力もありオンタイムで競技を進行しスムーズな大会運営がなされた。男子優勝は田原直哉選手（白馬村スキークラブ）、女子優勝は宮沢海帆選手（白馬高校学校）</p> <p>北海道強化指定選手から本州の大学に進学した道北出身の五十嵐晴冬が地元で高パフォーマンスのジャンプを魅せ2位に入った。女子は北海道強化指定選手の廣永紗彩選手が残念ながら転倒してしまい成績は思わしくなかったものの、昨年度より高難度の技にチャレンジし、観客を魅了しました。華麗な空中パフォーマンスを見れるエアリアル種目は北海道美深町が唯一の大会開催地となるため、今後も開催地美深町および美深スキー連盟協力のもと、魅力ある大会を継続して開催していきたい。</p>



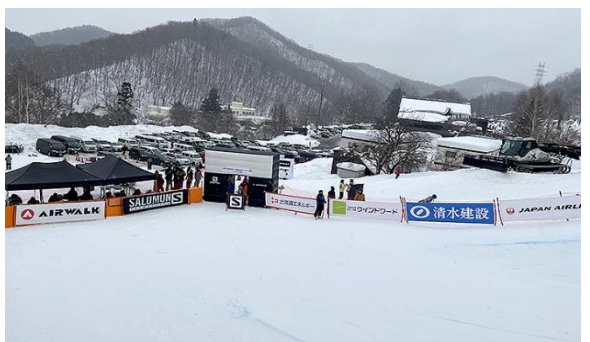
競技種目名	フリースタイル競技デュアルモーグル種目モーグル種目
実施日	2023年2月25日（土）～2月26日（日）
実施会場	さっぽろばんけいスキー場
競技主管	札幌スキー連盟
参加者数	男女合計69名
概況	<p>第42回大会は、降雪と悪天候により、競技を中断する場面が続いたが、2日間ともに競技を成立させることができた。デュアルモーグル男子は、木元聖大（札幌大学X-SPORTS部）、女子は梶原有希（東海大学札幌スキークラブ）いずれも北海道の選手が優勝。モーグル種目は男子・西沢岳人（チームスル）、女子・伊藤真凜（白馬村CS）のいずれも道外選手の優勝であったが、高岸岳、梶原久紗子が3位となり道内の選手が活躍した。モーグル強豪国である日本のナショナルチーム選手が多数参加する大会ということもあり、ゲレンデスキーで会場前を通過した一般客から「初めてモーグル見たけど凄いねー」などの声があるなど、競技としての魅力は十分あるため、開催スキー場や関係機関等と連携しながら、今後も魅力ある大会を開催していきたい。</p>



競技種目名	スノーボード競技スロープスタイル種目
実施日	2023年1月29日(日)
実施会場	ニセコ HANAZONO リゾート
競技主管	倶知安スキー連盟
参加者数	男女合計73名
概況	<p>第27回となる本大会は、毎年も開催地となったニセコエリアは多くの降雪があり、シーズン最初の大会としてのコースの仕上がりが良く、参加者たちも練習した成果を充分出す事が出来た。本州からのエントリー者も多く、シーズン初めのFIS公認大会として成功裏に終える事が出来た。</p> <p>昨年開催された北京オリンピックでの日本人の活躍に刺激を受けた若い選手達の熱い戦いが繰り広げられた。この種目はジュニア年代の参加者が多く、特に中高校生の参加者数は増加しており、ジュニア世代の底上げに大いに貢献できた大会となった。開催会場となる花園スキー場各位には多大なご協力を戴き、北海道スキー連盟スノーボード部としても今後の大会や合宿等で相互に協力しながら事業にあたっていきたいと思います。</p>



競技種目名	スノーボード競技ハーフパイプ種目
実施日	2023年2月19日(日)
実施会場	さっぽろばんけいスキー場
競技主管	札幌スキー連盟
参加者数	男女合計82名
概況	<p>第27回となる本大会は、今シーズンもFIS大会という事で本州からも沢山の選手・保護者が大会を楽しみに参加。大会会場であるばんけいスキー場の協力による早めの雪づくりで、大会コースは高さ6.5m幅20m長さ140mとFIS規格Aレベルのコースが出来上がった。参加選手は小学3年生から一般まで幅広く、各クラスで熱い戦いが繰り広げられた。昨年の北京五輪HPで日本人として初めて平野選手が金メダルを獲得した事もあり、ジュニア選手達が五輪出場を目指し頑張る姿を感じた。開会開催にあたり、ご尽力いただきました競技役員やばんけいスキー場スタッフの皆様、本年度の北海道スキー選手権への協賛会社様に感謝申し上げます。</p>



競技種目名	スノーボード競技アルペンパラレル大回転種目
実施日	2023年2月26日(日)
実施会場	国設阿寒湖畔スキー場
競技主管	釧路スキー連盟
参加者数	男女合計51名
概況	<p>第27回となる本大会は、天候にも恵まれたこと、大会関係各位のご尽力のもと大変コースコンディションがよい中で大会を行うことができた。ワールドカップにも出場している選手、世界ジュニア選手権派遣される選手など国内トップ選手が出場し、若い選手にも刺激になる大会となった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症も少しずつ落ち着き始めてはいるが、感染対策を行いながら、安全に大会を行うことができた。同時期に行われていたスノーボード世界選手権では、アルペン種目で日本女子選手が大活躍し、今大会に出場している選手にも大きな希望となり、各選手一段と奮起した大会となった。大会関係各位に感謝を申し上げます。</p>



競技種目名	北海道スキー技術選手権大会
実施日	2023年1月27日（金）～29日（日）
実施会場	ルスツリゾートスキー場
競技主催	北海道スキー連盟
参加者数	男女合計248名
概況	<p>第60回となる本大会も、新型コロナウイルス感染予防の観点から今年度も公開練習を中止とし、前日はコートオープンのみとした。</p> <p>また、昨年に引き続き開会式・閉会式の中止、大会運営管理下全員に体調チェックシートの提出、朝の検温実施、公式掲示のWEB化、代表者会議のONLINE化など、徹底した感染予防策を講じるとともに、役員用の感染症予防ガイドラインを作成し、万全を期した。</p> <p>大会期間中は気温が低く多少降雪もあったが、競技運営に大きな支障をきたすことはなく、おおむねスケジュールどおりに進行することができた。</p> <p>全日本スキー技術選手権大会での連覇を期待される武田選手の滑りに注目が集まった。</p>



競技種目名	北海道スノーボード技術選手権大会 北海道ジュニアスノーボード技術選手権大会
実施日	令和5年1月28日(土)～令和5年1月29日(日)
実施会場	美唄国設スキー場
競技主管	美唄スキー連盟
参加者数	男女合計85名
概況	<p>第25回スノーボード技術選手権大会と第15回ジュニアスノーボード技術選手権大会同日に行なっている。公式練習はグレンデコンディションも良く、大半の選手が参加した。午後からジャッジミーティング等が行われる。</p> <p>大会当日は開会式を行い、選手会は公式掲示にて行う。掲示も2か所設置とWEBでの配信により密を避けることとした。</p> <p>開会式までは降雪があったが競技については順調に行われた。</p> <p>表彰式については、各カテゴリー毎で行い、関係者も入場してもらい写真撮影の時間を設けて入替方式にした。</p> <p>美唄スキー連盟をはじめスキー場関係者の皆様には前々日から会場準備に ご尽力頂き深く感謝申し上げます。</p>



競技種目名	北海道マスターズスキー技術選手権大会
実施日	2023年2月11日（土）～12日(日)
実施会場	ルスツリゾートスキー場
競技主催	北海道スキー連盟
参加者数	男女合計291名
概況	<p>第19回となる本大会は、新型コロナウイルス感染予防の観点から昨年同様、開会式・閉会式の中止</p> <p>大会運営管理下全員に体調チェックシートの提出、朝の検温実施、公式掲示のW E B化など徹底した感染予防策を講じるとともに、役員用の感染ガイドラインを作成し、万全を期した。</p> <p>恒例となる前日の公式練習・デモクリニックは例年通り選手より好評であった。</p> <p>大会当日は降雪の影響による競技開始前のコース整備に時間を要したが、競技運営に支障をきたすことなく概ねスケジュールどおりの進行ができた。</p> <p>また、転倒者はいたものの負傷者が発生することなく大会を終えた。</p>



競技種目名	北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会
実施日	2023年3月4日(土)～3月5日(日)
実施会場	びっぷスキー場
競技主管	旭川スキー連盟
参加者数	男女合計238名
概況	<p>第12回となる本大会は、2日間とも天候にも恵まれ競技時間も予定通りオンタイムで行われた。</p> <p>コロナ感染対策としての検温もテント3張り設営し密にならず行われた。</p> <p>2日目の競技会では、気温上昇の為、コートが緩んだため、硫酸を投入し、出場選手、関係者のご協力によりコート整備を行う。</p> <p>大会全般は、怪我人もなくスムーズに行われ、参加者、関係者から感謝の言葉をいただきました。</p>



競技種目名	アルペン競技 ジャイアントスラローム種目（2試合） スラローム種目（2試合）
実施日	2023年1月22日（木）～1月28日（水）
実施会場	国設阿寒湖畔スキー場
競技主管	釧路スキー連盟
参加者数	男女合計469名
概況	ワールドカップの一つ下のカテゴリーに位置するファーストカップ。アジアエリアで開催される大会で各種目で総合優勝するとワールドカップの個人での出場権を獲得できる。ナショナルチーム入りを目指す選手、ワールドカップでは2回目になかなか進めないでがいている選手など日本のトップ選手達が出場。開催2日目は、悪天候に見舞われたが、全日程で予定していたすべての試合数を行うことかできたのは、氷に近い硬く整備されたコースがベースであることからこそいえるだろう。今大会には、アルペン大国オーストリアからも選手が出場し、コロナ過で海外点線が難しい若手選手にとってはとても刺激になった。

上記大会ゼッケンに貴社社名ロゴを記載しました。



スタートおよびゴールゲート、ウィナーズボードに貴社社名ロゴを記載しました。





北海道をスキー・スノーボードで元気に!



JAPAN AIRLINES



プログラム名	開催日	開催地
Enjoy powder snow in 美幌 はじめてのスキー体験	1月7日(土)	美幌町リリー山スキー場
Enjoy powder snow in 滝野スノーワールド 初めてスキー	1月15日(日)	札幌・滝野スノーワールド
Enjoy powder snow in 枝幸三笠山 GATE Challenge	1月29日(日)	枝幸町三笠山スキー場
Enjoy powder snow in 沼田町 第73回町民スキー大会	2月12日(日)	ASIMOI KANKO 高穂スキー場
Enjoy powder snow in るもい 雪育デイキャンプ	3月26日(日)	留萌市神居岩スキー場



Ski Association of Hokkaido

公益財団法人 北海道スキー連盟

事業名	Enjoy powder snow in はじめてスキー in BIHORO	
助成内容	参加費無料+運営費の一部	
日時	令和5年1月7日(土) 9:30~11:00	
場所	美幌町リリー山スキー場	
参加者	参加人数：9名 + 保護者など	募集定員：10~15人
	年齢層：小学1年生	
	男女構成比：9対1	
	居住エリア：美幌町	
活動内容 詳細	<p>小学校1年生を対象にスキー授業が始まる前にスキー用具の取扱いと、スキーの基本を学ぶ機会として、安全にスキーを楽しめるよう、美幌スキー連盟の協力のもと開催した。</p> <p>スキーの基本を学ぶことではスムーズにレベルアップできるよう、最初はリフトを使用せず、姿勢や泊まり方、スキーへの力のかけ方などを指導。最初に基礎を学んだことで、参加者は恐怖心を克服し、スノースポーツの楽しさを味わうことができた。後半には、リフトを使用し、参加者全員でリリー山スキー場の中間から滑走することができた。子供たちの体力向上とスノースポーツの普及を図る良い機会となった。感染対策として、ロッジ内でのマスク着用、手指消毒の徹底を呼び掛けた。びほろスポーツクラブBeet×北海道スキー連盟のコラボとして開催となった本事業、普段の教室とは違う雰囲気に参加者はイベント気分をしっかりと味わっていただけたように感じた。</p>	
告知募集 方法	<p>期間：12月6日(火)~12月26日(月)まで 方法：美幌町ホームページ、美幌町公報、美幌スポーツクラブホームページ</p>	





docomo 4G 17:37 79%

docomo 4G 17:37 79%

総合型地域sc北海道ネットさんの…

総合型地域sc北海道ネットさんの…

いいね! コメントする シェア



いいね! コメントする シェア



総合型地域sc北海道ネットにメッセージを送信

総合型地域sc北海道ネットにメッセージを送信



事業名	Enjoy powder snow in 滝野スノーワールド 初めてスキー	
助成内容	参加費無料+運営費の一部	
日時	令和5年1月15日(日) 10:30~12:00	
場所	滝野スノーワールド	
参加者	参加人数：12名 + 保護者など	募集定員：10~15人
	年齢層：主に年長~小学1年生	
	男女構成比：5対5	
	居住エリア：主に札幌	
活動内容 詳細	<p>小学校1年生からスキー授業が始まることに不安をかかえている子供たちに、2時間という時間で、ブルークボーゲンで止まれるまでを指導。寒くて辛いものと思っている冬休み明けのスキー授業への不安解消となるよう、そしてもっとかんばってみようという気持ちになってもらえるきっかけ作りのイベントレッスン。</p> <p>講師には、オリンピック川端絵美氏をはじめジュニア指導に実績のある講師とサポートスタッフを十分配置し実施。新型コロナウイルス感染対策も適切に行った。</p> <p>当日の気温は-7度前後と少し寒さはあったものの、好天に恵まれ、子供たちが楽しくイベントに参加できた。実際のスキー指導は、室内でブーツの履き方などを個別に指導し、ブルークのV字を作る練習を最初に行った。その後、屋外に移動し、雪上にカーペットを敷き、スキーが勝手に滑らない安定した状態でV字を作る基礎動作の練習を重点的に行なった。その後は、スキーの先端を指導者が支えて斜面を安全に誘導し、子供たちはブルークの形から足を伸展し、制動に入る基礎的な練習に移行した。2時間を経過する頃には多くの子供が緩斜面のブルークから自力で制動をかけられるまでになり、スキーの操作の面白さが伝えられた。約2時間の講習後は、オリンピックの川端絵美氏から修了証(集合写真をつけ)を子供たち一人一人に渡され、子供たちは2時間の頑張りを実感できた様子であった。</p>	
告知 募集 方法	告知は滝野スノーワールドのご協力をいただき、同施設のHPで行なった。 https://www.takinopark.com 期間：12月20日(火)~1月7日(土)まで	





事業名	Enjoy powder snow in 枝幸三笠山【GATE challenge】	
助成内容	オリンピック依頼費用+運営費一部 (オリンピック 川端 絵美)	
日時	令和5年1月29日(日) 9:00~13:00	
場所	枝幸町三笠山スキー場	
参加者	参加人数：33名 +保護者など+地元スキー選手+地元高校生など	募集定員：30人
	年齢層：幼児～小学生	
	居住エリア：枝幸町内	
活動内容 詳細	<p>開催前日夜半から暴風雪となりイベントの開催が心配されましたが、朝から青空が見え始め最高のコンディションで本事業を開催することができました。</p> <p>開催にあたってはGATE（旗門）内を滑るということに不安を感じる子供や保護者がいましたが、「タイムを競い合うのではなく、冬の日をスキー場で思いっきり楽しもう！」の呼びかけてエントリーしていただきました。受付で嬉しそうにFISのビブをつけた子供たちは、開会式に参加。コースを見上げて怖気付く子供もいましたがスポーツボランティアとして参加する地元枝幸高校の生徒さんに励まされ、全員がスタート地点に立つことができました。「GATE challenge」では、まずは難易度の低い「初めてのチャレンジコース」を全員が滑走。希望者には「スキルアップコース」も滑ってもらいました。多くの子供たちが滑走を希望し、悪戦苦闘しながらも頑張ってゴールを目指しました。滑走中は真剣、無表情でしたがコース脇の声援に励まされ無事にフィニッシュすると達成感で顔がくしゃくしゃになっていました。スペシャルゲストの川端絵美さんからマイク越しに大きな声で応援をいただき、ゴール後に記念撮影する光景もあり、とてもホットな雰囲気でした。また運営スタッフとしてエムスクレーシングの若い選手たちも前走やコース整備、参加した子供たちのお世話役として大活躍。終了時には川端絵美さんから修了証を手渡され、最後に集合写真を撮って終了。なお、この日は、「スタンプラリー」や「雪中宝探し」のプログラムも用意し、冬の日を大いに楽しみました。イベント全体の参加者数は203名。ここ数年コロナ禍でひっそりとしていたスキー場に活気を与えていただきました。スキー場には子供たちの歓声が響き渡り、保護者やおじいちゃん、おばあちゃんの声援がすごくてとても印象的でした。これからのスポーツは「する」「みる」「ささえる」の三拍子がそろわないと、つくづく感じさせられた一日でした。これを機に、子供たちが山に足を運んでくれることを願うものです。</p> <p>（追記：当日、枝幸町のケーブルテレビ局（EOSチャンネル）の取材があり、イベントの様子はケーブルTVで放映されました）</p>	
告知 募集 方法	エムスク ホームページ・インスタグラム・ツイッター・町内外での告知	





事業名	Enjoy powder snow in 沼田町第73回町民スキー大会	
助成内容	パラリンピアン依頼費用+運営費一部 (パラリンピアン狩野 亮)	
日時	令和5年2月12日(日) 9:00~15:00	
場所	ASHIMOI KANKO 高穂スキー場	
参加者	参加人数：49名 + 同時開催イベント参加50名程+保護者など	募集定員：設けていない
	年齢層：幼児~中学生	
	居住エリア：沼田町、近隣市町村	
活動内容 詳細	<p>沼田町の豪雪地帯で大会当日も雪が降る中でしたが、町外からの参加者も多くまた当日受付も可能で大いに盛り上がった。地元スキー連盟とN-linkのスタッフが連携し全体運営を行い、学校でのスキー授業に係る指導者とも連携することで子供たちのスキー・スノースポーツを長い目で見守り指導できている小さな町のメリットをこのイベントでも出すことができた。ゲストの、パラリンピアン狩野さんがチェアスキーで子供たちと一緒に滑り、また大会前走も行ってくれた。子供たちは初めて見るチェアスキー、キラキラしたまなざしで狩野さんを迎え、大人からも大歓声が上がった。午後からは班に分かれてのスキーレッスンを行った。表彰式では、タイム計測した順位表彰もさることながら、狩野さんのサプライズで、獲得したオリンピックのメダルを子供たちに触らせてもらえ「本物」の重みと、できる事を見つけベストを尽くし継続し続けることの大切さ、勇気、希望を与えてくれた。</p> <p>その他スキー場前では、スノーモービルでチューブ引くスノーボート、スノーライダー、ちびっこ尻滑りなども開催し、親子3世代、本州からの移住者など多くの方にスノースポーツを満喫してもらうことができた。</p>	
告知募集 方法	N-linkホームページ、町内外での告知など	





事業名	Enjoy powder snow in 雪育デイキャンプ in るもい	
助成内容	参加費無料+運営費の一部	
日時	令和5年3月26日(日) 9:00~12:00	
場所	留萌市神居岩スキー場	
参加者	参加人数：22名 + 少年団関係者 + 保護者など	募集定員：30名程度
	年齢層：年中から小学3年生くらいまでのスキーが初めての子、やってみたくて不安がある子	
	居住エリア：留萌市内・留萌管内	
活動内容 詳細	<p>スキー場閉鎖から十数年が経過しているが、留萌市より圧雪車の導入があり、本来の利用目的であったスキー場としての機能を存分に活用し、子供達に向けた冬季スポーツの振興と健全な育成を目的として開催した。斜面を滑るいわゆるアルペンスキー(ゲレンデスキー)とクロスカンリースキーの講習を基本とし、雪上アトラクション(スノーモービルでチューブを引くバナナボートなど)を通じて雪遊びの楽しさを身近に感じてもらい「スキーをもっとやってみたくて!!!」の気持ちを育てて行くことも目的である。講習は3グループに分かれ各ニーズにあった内容で実施。講師には、地元のアルペンスキー、クロスカンリースキー、スペシャルジャンプ、コンバインド、スキー指導員など多彩な構成で行った。春の陽気にも恵まれスキー日和の中、子供たちは楽しくイベントに参加できた。ジャンプ台も作り、まさにスキー競技全部体験。なれない種目に戸惑うこともあったが、最後にはバナナボートに乗り、笑顔あふれる時間をすごしてもらい、修了証を一人一人に渡され参加者は満足した様子だった。</p>	
告知募集 方法	留萌市教育委員会のご協力をいただき、留萌市内各小学校、保育園へのチラシ配布を行った。 期間：2月27日(月)~3月6日(月)まで	







FISから提供されたデータに、当連盟スポンサーを記載した参加証を作成し開催地にお渡しし、各会場で白紙部分をアレンジして活用してもらった。



ネックウォーマー
FISからの参加プレゼント